

平野中だより

令和6年4月8日

＜学校教育目標＞ ともに学び挑み夢を語る生徒

【合言葉】～ かがやきサイクルでレッツチャレンジ！～

蓮田市立平野中学校 TEL048-766-9003

ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>

Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com

心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



「ともに学び挑み夢を語る生徒」

～ かがやきサイクルでレッツチャレンジ！～

正門や校庭の桜が、まるで新入生の入学や在校生の進級を待ちわびていたかのように、見事に咲き誇っています。新入生19名を迎え、全校生徒79名で令和6年度がスタートしました。

今年度も、今を生きる目の前の生徒を大事にし、平野らしさを強みとし、生徒が学びたくなる、教職員が勤めたくなる、家庭・地域から愛され信頼される学校づくりを目指してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

学校教育目標は、「ともに学び挑み夢を語る生徒」、合言葉は「かがやきサイクルでレッツチャレンジ！」です。生徒、教師、家庭・地域で「ともに」学び、様々な物事に挑戦し続け、主役である生徒が夢を語れるようになってほしいという願いが込められています。

どうぞ、本校の教育活動に御理解と御協力をいただけますよう、お願いたします。

＜学校教育目標＞ 「ともに学び挑み夢を語る生徒」
合言葉 ～ かがやきサイクルでレッツチャレンジ！～

＜めざす学校像＞ 「夢を語り 笑顔・活力・思いやりのある学校」
○目標や夢に挑戦し続ける学校
○思いやりと活力のある学校
○ともに学び合い 高め合う学校

＜めざす生徒像＞ 「問題に気づき 自分たちで修正・修復・解決できる生徒」
○自ら学び 考える生徒
○心やさしく たくましい生徒
○心身を鍛える生徒

＜学校経営の基本理念＞
○学校は、生徒・教師ともに楽しく学び合い、高め合う場である
○学校は、未来を創る子どものためにある
○学校は、地域立であり、信頼から成り立つところである

◇平野中学校の特色 「かがやきサイクル」

本校の特色でもある「かがやきサイクル」。「準備 → 本番 → 振り返り → 改善」をすべての教育活動において取り組むことで、生徒の可能性を開花させ、生徒の力を伸ばすルーティーンとなっています。学校教育目標の達成に欠かすことのできない実践でもあります。

令和6年度 第78回入学式 校長式辞より（一部抜粋）

みなさんは「夢」をもちますか。中には、小さいころから憧れている人がいて、その人と同じ職業に就きたいなどと、すでに具体的な夢があるという人もいるかもしれません。しかし、現時点で夢をもちなくても、それは決して悪いことではありません。

ある人がこんなことを言っていました。「夢は、探し続けて、行動してみて、その中で少しずつ『彫刻』のように形作っていくものだ。」と。

その言葉を聞いて、私自身がかつて行っていた進路指導を振り返ると、まず夢を見つけ、それを叶えるためにどんな資格や知識・技能が必要かを調べ、それを学べる学校を探しましょう…という形を基本にしていました。夢をすでにもっていることが理想だと思っていたのです。しかし、そもそも人間は、例えば「はきみ」のように“物を切る”という目的が先にあって誕生したのではなく、目的よりも先に存在しているということ考えると、まずは「夢を見つけなさい」と言われても、そう簡単には見つけられなくて当然なのかもしれません。大切なのは、夢を探し続けて、行動し続けるということだったのです。さまざまな経験をしながら夢を形作っていくのです。

私のかつての教え子で、「夢はまだ決まっていなくても、とりあえず普通科に進学したい…」と言っていた生徒も、ちゃんと「彫刻」は作り始めていたのだと、今になって思い返しています。

今ある職業が、いずれAIやロボットに置き換わってしまうかもしれない、あるいは全く新しい仕事が誕生するかもしれないこの変化の激しい社会では、夢を探し続けて、行動し続けて、「彫刻」を形作っていくという考え方が、とても重要になってくるのかもしれません。

本校の“目指す生徒像”は、「問題に気づき、自分たちで修正・修復・解決できる生徒」です。ぜひ、あらゆる場面で「かがやきサイクル」の流れを活用して、様々なことにチャレンジする中で、自分の可能性を広げ、よきを伸ばして行ってほしいと思います。そして、自分の夢を形にしていってください。

先生方も、一人一人が輝けるよう最大限の努力をします。不安や悩みなどがあれば、いつでも遠慮なく相談してください。一度きりの中学校生活です。共に学び、高め合い、楽しく充実したものにしていきましょう！



○小中一貫教育の継続、そしてコミュニティスクールへ

平成25年度よりスタートした平野小学校との小中一貫教育の取組を今年度も継続します。そして令和4年度よりコミュニティスクールとなりました。学校運営の改善及び児童・生徒の健全育成に向けて協働する学校へと、より一層地域とともにある学校づくりを進めてまいります。

＜コミュニティスクール＞

学校運営協議会（学校と地域をつなぐ本部的な組織）を設置している学校